

Support



NO.5
令和4年12月22日
編集・発行
学校支援課 広報担当

<http://www.city.niigata.lg.jp/kosodate/gakko/index.html>

Report -授業事例-

資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」へ
計画訪問より…キーワードは「単元で育成」「アウトプット」「振り返り」「ICT」

小学校4年 国語 単元「気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう」

課題を追求する際、方法や学習形態、教材、資料は児童一人一人が自己決定をして取り組みます。このことにより、主体的に個人または協働で、自ら根拠を探したり、考えを整理したりしました。



「『本のショーウィンドウ』を作る」という目的を単元の初めにもたせ、登場人物の気持ちの変化や情景などについて追求していきました。



T「ロイロだけでなく、これまでの資料やノートを使ってもいいです。一人で考えても、友達と話し合ってもいいです。」



〇〇さんはどう考えたの？結果は私の考えと同じだね。でも、根拠は少し違う。



T「全体で、考えを共有しましょう。〇〇さん、前に出てきて説明してくれる？」

中学校1年 英語 単元「さいころトークをしよう」

単元の目標（活動と評価規準）を生徒と共有することでゴールイメージが明確になり、主体性を高めることができます。また、相互評価を取り入れ、仲間と協働して高めようとする姿勢を高めます。



即興的な簡単な会話ができることが目標。単元の終末に、ALTの先生との会話にチャレンジするんだよね。



これまで確認してきたたくさんの表現をすぐに使えるといいな。



Let's talk about food!
What kind of Japanese food do you like?



会話の様子を録画して、あとから振り返ろう。改善点がきっと見つかる！

中等教育学校6年 化学 単元「天然高分子化合物」

追求する価値のある課題を設定し、生徒に話し合いの時間をたっぷり預けます。生徒は、試行錯誤しながら話し合うことで、これまでの知識を駆使したり、生徒自ら徐々に考えをまとめたりしていきます。



前回の実験の方法は、目的に対して妥当だったのでしょうか？それぞれの班の報告を見てみましょう。



あれ？結果は同じでも、それぞれの班の実験の順序や方法が違う。A班はどうしてはじめて〇〇をしたんだろう？



確か、ニンヒドリン反応は〇〇を調べるのが有効だったんじゃないっけ？調べてみてね。



仲間と検討すると、これまでの知識が総動員されて解に近づける！

再確認！！

人権教育、同和教育の推進

(同和教育を中核とした人権教育)

学校・園の教育活動全体を通じて推進

人権教育とは、人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動です。

学校・園教育における目標は、
発達段階に応じて

人権の意義・内容等について理解する

(人権に関する知的理解)、

自分の大切さとともに他の人の大切さを認める

(人権感覚)、

それが具体的な態度や行動に表れるようにすることとなります。

人権教育を通じて育てたい
資質・能力

“自分の人権を守り、
他者の人権を守ろうとする”
意識・意欲・態度

選択と集中

人権尊重の視点に立った
学校・園づくり

目標達成のためには、

◆人権教育の充実を目指した教育課程の編成が必要です。

→人権教育、同和教育全体計画や各教科の年間指導計画を確認し、
どの教科の、どの単元に位置付けて各種教材やリーフレットを活用(目標を明確に)して学習をするのかを学校全体で共有することが大切です。

チェック!

自校・園でしていますか？

- 各学年の年間指導計画の整備 (学習指導要領等に合わせて)
- 取組の点検・評価 (同和教育では主に「生きるシリーズ」を活用した授業の実施。その他、各種リーフレットの活用)
- 校内研修 (同和教育を中核とした年2回以上の研修の実施)
- 中学校区での連携

チェック!

☆人権一般の普遍的な視点 (「法の下での平等」、
「個人の尊重」といったもの) からの指導と、

★個別的な人権課題からの指導があります。

- ・女性・子ども・高齢者・障がい者・**同和問題**・**新潟水俣病被害者**
- ・アイヌの人々・外国人・インターネットによる人権侵害
- ・HIV感染者、ハンセン病患者等・刑を終えて出所した人・犯罪被害者等
- ・**北朝鮮当局による拉致問題**等・その他 (性的指向に係る問題など)

「めぐみ」の視聴を

新潟市特有の
課題です

2016年12月16日から、「**部落差別の解消の推進に関する法律**」が施行されています。
この法律は、現在もなお存在する部落差別の解消を推進し、部落差別のない社会を実現することを目的としています。
新潟市では、「**本人通知制度**」を2018年3月から開始しました。登録をお願いします。
住民票の写し等が第三者等に取得された事実を本人に通知することで、市民の人権を守ることを目的とした制度です。

授業を通じて推進

授業で大切にしたい
ポイント！

「差別はいけない」と

教え込む授業から、

「自分自身の加害性や差別意識を
子どもと共に考える授業への転換

同和教育を
教える自信が
ないな..



そうですね。気持ちはよく分かります。人権教育、同和教育は、「何を教えればいいのか」がはっきりとしていないからだと考えられます。しかし、教えるべき内容はあるのです。それは「**社会に不当な差別が存在すること**」に他なりません。でも、「**差別をなくそうと実感を伴った理解**」を教えることはできません。子どもの心の内面にかかわることであり、子どもがその差別問題とのつながりや自分の差別意識を見つめることでたどり着くことだからです。そのためには、授業者自身が、子どもと同じ一人の弱い人間として、子どもと同じ目線で共に学び・考える姿勢で授業に臨むことが大切です。



「生きるシリーズ」
を活用した

実践事例紹介

小学校2年 道徳（内容項目 公正・公平）
教材：「おおかみさんがひっこしてきた」（生きるⅠ）

【ポイント1】

教材の中の差別に気付き、自分も見た目やうわさだけで人を判断してしまうことがあることを自覚する

【ポイント2】

教材の中の差別を見抜き、なぜそれがいけないことなのかを考える

【ポイント3】

差別された側（おおかみさん）の気持ちに寄り添う

【ポイント4】

「自分ならどうするのか」を考える

【ポイント5】

差別は許されないという実感を伴った理解のもと、今後どうしていきたいかを考える（実践行動）



おおかみをこわい
と決めつけてはダメ
だよね！

ポイントをおさえた
素晴らしい
実践でした！